

麻生区区民会議 第8回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年8月11日（木）午前10時00分～12時20分
- 2 開催場所 麻生区役所第4会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]
石井委員、植木委員、魚本委員、菅原委員、竹市委員、武濤委員、
田中委員、土井委員、柳島委員
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里

4 傍聴者 0人

5 議 事

(1) 調査審議課題について

ア 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について

【報告事項】

- ・「地域防災マップの作成や高齢者メンタルヘルス推進体制の検討」の提案に関わり、平常時より災害時を取り扱う意義や利点について田中委員から報告された。
- ・「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」をまとめていく上での課題解決策の整理として、通常時と非常時に分けてポイントを柳島委員から報告された。
- ・これまで議論されてきた内容を整理した資料について、事務局から報告した。

【主な意見等】

- ・「日頃からのささえあい、絆づくり」と「災害時に特化した取り組み」のどちらに焦点を当てて進めていくのがよいか、方向性を決める必要がある。
- ・部会で今まで話し合われてきた流れは、もともと「日頃からのささえあい」からスタートしており、「災害時」のことも大切だが「日頃」がメインになると思う。
- ・「日頃からの絆」がなければ、いざ「非常時のご近所でのささえあい」も生きてこないと思われる。やはり「日頃からのささえあう関係」づくりをまず取り扱い、その上で「非常時（災害時）」に應用することを検討する、という流れの方がよい。
- ・「災害時」を検討することについては、災害があってからどうこうするのではなくて、災害があった時に備えて取り組んでみてはどうか、という意図である。
- ・日常では、近所に高齢者や障害者で災害時に困る人がいる、ということをあまり意識してはいないし、皆自分には関係ないことと思っているが、今回の災害を経て、例えば避難所の位置がわからないとか、高齢者や障害者の困窮する状況が見えてきた。常日頃のことを検討しつつ、非常時（災害等）のケースも付け加えた提言（まとめ方）にしてはどうか。
- ・「方向性」と言っても編集方針のようなもので、最後のまとめの段階での書き方

を改めて考えればよいのではないか。

- ・ 解決策の具体化を考えて、何か区民会議としての提言にまとめていくことを考えなければならない段階である。
- ・ 区民会議で協議した結果を区（市）に提案しても、区民全体にその内容を知らせなければ意味が薄れてしまう。「報告集」などの分厚い冊子を作るよりも、何かしらきちんと区民一人一人に伝える手段を考えないといけない。
→区民皆が提案内容等を知ることができるものを作ることは賛成だが、もう少し先のまとめの段階で、どのように広報（PR）するかを考えたい。
- ・ 今回の二人の委員からの提案を「解決策の具体化」の中でどのように取り上げていくのか。
- ・ 担い手の部分ならば、例えば「特に一人で暮らしている高齢者に目を向けて民生委員や町内会にこういう事をやってもらいたい」とか「地域包括支援センターをもっと有効に活用してもらうために、センターがどこにあって、どんなことをしてもらえて、誰が繋いでくれるのかを広く周知したい」というまとめ方はどうか。
- ・ 交通難民の項は、年をとって車での外出も困難となる高齢者にとっては大きな問題であり、区民にインパクトを与えるものでもある。
→方向性をきめたのに新しい提案をされても、収れんしていけないのではないか。
部会の運営の仕方として、今ここで解決策を絞り込んでいく際、新しい提案はしない方が良いのではないか。
- ・ 「民生委員」や「地域包括支援センター」等の項は解決策の具体化としてよいけど、コミュニティ交通はちょっと趣旨からずれる気がする。
- ・ 今までまとめてきたことは、町内会やボランティア団体など各ヒアリング先の担い手の意見や希望であって、われわれ区民会議委員の提案ではないのではないか。
→そうは言っても、町内会のことは町内会に聞かないとわからない。もうすこし町内会と連携して考えなければいけないと思う。
- ・ 議論しても実際何かをやらなくては意味がない。区民の代表として地域の課題について区民会議からどういう提言ができるのか、が重要であって、我々自身が議論して自分の勉強だけで終わるのでは意味がない。
- ・ 議論しなければ区民会議の意味がない。
- ・ 「解決策の具体化」をリストアップしていく際、各提案を取り入れるところで否定的にならなくてもよいのではないか。その次のステップで、個々の具体策を深めたり絞り込んだりすればよいのではないか。
- ・ 交通難民は、特に麻生区では大きな問題である。どこまで細かく論じるかは別として、提言の中に盛り込んでいくことは必要と考える。麻生区では今までも、区民自らの力で地域にコミュニティバスを走らせることができるのかどうかについて、協議会を中心に何年もかけて取り組んできている。
- ・ 解決策の具体化を考える際、「広報」や「担い手」のほかに「その他」グループ

- として、「コミュニティ交通」や「高齢者メンタルヘルス」を位置付けてはどうか。
- ・川崎区区民会議で「コミュニティバス」を取り上げているので、その動向も見守りたい。
 - ・「ふれあいサロン」的なものは、すでにある項目「地域交流の場の検討」と同等であり、「向こう三軒両隣」については「地域の絆づくり」の項目と同等、と考えられる。
 - ・「ご近所防災マップ」については、具体的な解決策として「防災」についてとりあげようと思ってから、次の議論に進むのではないか。
 - ・「ご近所防災マップ」をつくることは、近所の災害時要援護者を知る手伝いにもなる意味で意義がある。
 - 自主防災組織を通じて、区レベルの組織に提案し、全区に広めればよいと思う。
 - ・防災マップは今までもいろんなところで作られてきているが、どれもまったく活用されていない。しかも広範囲に渡るものばかりで、隣近所レベルのものは今までにないはずである。但し、もし具体的に区民会議の取り組みとして取り扱おうとすると、「出力媒体をどうするか」等を新たに検討しなければならない。区民会議として取り上げるなら、百合丘三丁目町会でモデル事例を作ることも考えられるのではないか。
 - 「解決策の具体化」を考える中で、「防災マップ」も1つの手法としては考えられる。取り上げるかどうかは、今後の絞り込み段階での議論とする。
 - もう少し具体的な部分を詰めればモデル事業化もできるかもしれない。
 - ・モデル事業化等を考えるのは、何について具体的に検討を進めていくかを決めてからのことである。
-
- ・区社協の「ささえあい事業」が、部会として課題認識していることに近い事業であると考えたが、実際に利用度が低いのはどうしてなのか。利用度が低い原因を精査するとともに、どうすれば利用者が広がり、またどんな支援ができるのか、担い手は区社協だけでよいのか、等々といった事をまだ検討していない。
 - ・区社協の「ささえあい事業」改善は、震災の影響もあって、先に進んでいない。
 - ・各ヒアリングレポートのうち、区社協のささえあい事業の利用度の低さをクローズアップし、原因究明する必要があるのでは、という提案である。
 - ・「ささえあい事業」の利用度の低さについては、PRの問題、担い手の問題のほかに事業そのものの内容にも問題があるのではないか。
 - 事業内容はこれでよいのか、という問題提起をすればよいと思う。
 - 例えば、このメニューでよいのか、有料でよいのか、などが考えられる。
 - ・ささえあい事業の担い手である「協力員」には、とりあえずボランティアをやってみよう、と思い取り組んでいる人もいるが、相手（支援者）に対してどういう視線で取り組んでいるのだろうか。
 - 事業内容よりも、まずは利用者への周知が大切ではないか。
 - ・事業そのものの内容はこれでいいのか、ということ区民会議委員として考えないと、その先の解決策の糸口や具体化への検討に進まない、と思う。

- ・いろいろな事業がある中で、「事業の見直しを考える必要があるのではないか」という項目が現在整理されている資料中には見られない。「解決策の具体化」の一項目として、「(事業や制度、取り組み)内容の見直しや検討」というものも入ってきてよいのではないか。

【決定事項】

- ・「ささえあい」や「絆」を考える際、まずは「日頃」のことについて考えていく。提言をまとめていく段階で、「非常時(災害時)」のことも付加していく。
- ・「解決策の具体化」について「その他」の枠を設け、その中に「交通難民」や「高齢者メンタルヘルス支援」の項目も加える。
- ・「ささえあい事業」利用度の低調な原因究明と審議については、別途検討会を開いて議論する。検討会で取り上げる内容については、土井委員を中心にレポート(紙)を事務局宛て事前に提出してもらう。
- ・「解決策の具体化」部分について、各委員からの意見を事務局までレポート(紙)に書き出し、次回部会前までに事務局宛てに提出してもらう。事務局では、それらを一覧表化して整理し、次回部会の資料として提出する。
- ・次回の部会は、9月12日(月)17時から、麻生区役所第5会議室で行う。
- ・「ささえあい事業」の内容等の検討会について、8月29日(月)13時から全体会議の開始前までの時間に、区役所企画課横打ち合わせスペースで行う。

イ 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について

【決定事項】

- ・次回部会において、今までのヒアリング経過報告をまとめて行う。
- ・できるかぎり次回部会までに、報告としてまとめたものの内容確認を各ヒアリング先団体宛てに事務局から確認してもらう。

(2) その他(「区民会議フォーラム」について)

【報告事項】

- ・9月25日(日)、「循環型のまち・生ごみリサイクル」をテーマに第1回区民会議フォーラムを開催する。
- ・8月22日(月)の環境・緑化部会で、第1回区民会議フォーラムの内容等細かな部分を再度練り直す予定である。
- ・2~3月中に実施する第2回区民会議フォーラムについては、地域交流・文化部会が中心となって、今後、その趣旨や企画内容を詰めていく。

【決定事項】

- ・9月25日の役割分担(地域交流・文化部会委員の分)を次のとおり決定した。
 受付係・・・植木委員、魚本委員
 会場案内係・・・柳島委員、田中委員、菅原委員